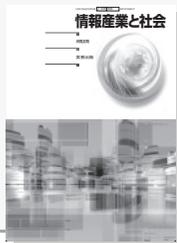


# 平成25年度用新課程教科書 執筆にあたって



7実教 情報302

## 情報産業と社会

前愛知県立岡崎商業高等学校長 鎌田 宗憲

専門情報の基礎科目である「情報産業と社会」の教科書は、現行版教科書をベースに、大幅に新しく内容を書き換えた。この科目を修得させることで、「情報に関するスペシャリスト」としての人材育成につながるものと確信している。

内容構成は次のようになっている。

- |     |                |
|-----|----------------|
| 第1章 | 情報化と社会         |
| 1   | 社会の情報化         |
| 2   | 情報産業の進展と役割     |
| 第2章 | 情報産業と情報モラル     |
| 1   | 情報技術者の義務と責任    |
| 2   | 情報モラルと情報セキュリティ |
| 3   | 情報産業と法規        |
| 第3章 | 情報産業と情報技術      |
| 1   | 情報技術の基礎        |
| 2   | 情報技術の活用        |

新教科書の大きな編修方針としては、次の3点を中心に考えた。

- I 現代社会において、情報産業の果たす役割が理解できること
- II 情報産業を支えている情報技術の基礎的な内容が修得できること
- III 情報産業に関する職業への興味・関心がより深まって学習できること

上記の編修方針を具現化するために、次の点に配慮した。

- (1) 構成・配列については、基本的には学習指導要領どおりであるが、情報モラルや関連法規と情報産業に関する職業とを結びつけて説明できるように、学習指導要領 (2)「情報産業と情報技術」と (3)「情報産業と情報モラル」を入れ替えた。
- (2) 情報技術分野の説明において、学習指導要領では、ハードウェア、ソフトウェア、情報通信

システムの3点であるが、基礎的な力を育むねらいから、「データ表現」についても説明した。

(3) 基礎・基本を定着させるねらいから、節のまとめとなる問題を節末問題とし、章全体にかかわる問題を章末問題として配置した。章末問題は、発展学習として利用できるように、調べ学習の題材を提供した。

(4) 生徒が興味・関心を持って学習できるように、1ページに必ず1つ以上のイラストや写真を配置することを基本にした。

(5) 本文で説明しきれない内容を側注において説明することで、内容の充実をはかった。

(6) 見返しや口絵においては、生徒が興味を引く題材を取り上げ、やさしくソフトな表現になるように、イラストや写真を多用した。

(7) 情報産業に関する職業への興味・関心を促すねらいから、「スペシャリスト訪問」というコーナーで、実際にその職業に就いている人物を紹介した。

(8) 年々、情報産業が発展していることと、情報モラルの重要性が増していることを踏まえ、それらの点に関する本文の記述を大幅に増やすとともに、見返しにおいても、情報モラルや情報関連法規に関する内容を取り上げた。

(9) 具体的なソフトウェアを利用する場面においては、学校及び一般での普及の点から、表計算ソフトウェアは、Microsoft社のExcel、プレゼンテーションソフトウェアは、Microsoft社のPowerPointを念頭に説明した。

(10) 学習上の便宜を図るために、巻末に「重要用語のまとめと解説」を、見返しには「表計算ソフトウェアの主な関数」を一覧表形式で掲載した。